

5月定例山行

5月29日(日) 深入山とカキツバタ

参加者 20名

CL 川村 SL 原田

小山 白川 佐々木 三重成 武川  
利田 中島康 入江 田村 三重典  
竹野栄 坪倉 成広 円山 宮木澄  
村島 (会友)片山・丸田



コースタイム

県庁北 7:25⇒深入山登山口 8:55⇒(ワラビ採り)山頂 10:30~(昼食)~11:30→

下山口 12:15⇒千町原 12:45⇒カキツバタの里 14:00⇒樽床ダム⇒県庁北 16:10

○

黒焦げた山焼きの姿から、美しい緑の衣装に衣替えた深入は、青い空に眩しい程映えていた。

5月10日の下見には蕾すら殆ど見当らなかった八幡湿原は、一面の紫のさざなみが揺れるかのように変身し、私を“あっ”と驚かせた。

牧野富太郎の石碑の所、カキツの里も、目に鮮やかな紫を惜しみなく、私達20名に披露してくれた。

気持ち良く晴れ渡った芸北の春、私のためにこの日を下さった皆様、深入山の美しい姿、カキツの群落よ!

そして、樽床ダム一周案内をして下さった“芸北のヨン様”に“どうもありがとうございました!”と初めてのリーダーは、心からお礼申し上げます。

(記 川村文子)

○

新緑の時季の深入山は何年振りだろう?楽しみにバスに乗り込む。初リーダーの

川村さんの名ガイドや、オカリナの演奏に合わせての合唱で車内は盛り上がった。

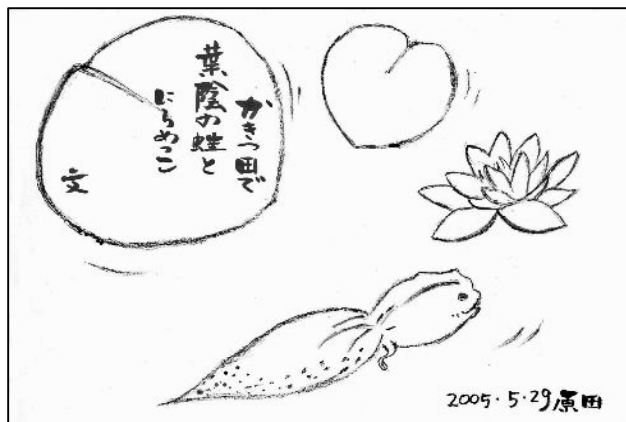
いこいの村から、わらびを採りながら、皆んな思い思いに登って

いく。山焼きの後だけに、たくさん採れた。ズボンはピカソ調の模様に。頂上からの眺めは大パノラマに感動しながら弁当を開く。

今日の楽しみの一つ、八幡湿原では、カキツバタが今を盛りと咲いていた。コウホネ、スイレンも目を楽しませてくれた。「池ではジュンサイの栽培をしている」と芸北町のヨン様こと中島さんの説明。

その後に行った休耕田のカキツバタも見事だった。中に一輪の白いのが清楚。帰りは聖湖を一周して帰った。

すっかり芸北の住民になられた中島さんの案内で芸北町が一層身近になった。両リーダー、中島さんありがとうございました。(記 三重典子)



句：川村文子 絵：原田美穂子